

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	千川おひさま幼児教室		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 11日		～ 2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2024年 10月 11日		～ 2024年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	感染症マニュアルなど必要なマニュアル等の作成、整備については、法人として取り組むことで抜け落ちがないようにできています。	必要なことを法人全体で共有し、委員会等を立ち上げて担当者を決め、マニュアル類を作成しています。そのマニュアルを基に事業種別、事業所ごとに整えています。保護者会ではマニュアル類の原本を閲覧するようにしています。	保護者への周知が弱いので、工夫が必要です。
2	年8回の学習会を実施してガイドラインの内容の確認・把握、支援の質の向上に取り組んでいます。	学習会では、情勢に関すること、実践に関することを主な内容としています。今年度は特に新ガイドラインの把握と活動プログラムの見直しをすすめました。	定期的に活動プログラムなどを見直し、ガイドラインに沿った支援を展開していくことが重要だと考えています。
3	併用している幼稚園との連携ができています。	定期的に連絡を取り合い、訪問も実施しています。また、「連携シート」を作成し、保護者も含めて目標を共有して連携をすすめています。	市内の幼稚園に取り組みを知っていただくための工夫が必要だと考えています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	OT、STなど専門職との連携が必要だと考えています。	OT、STなどの専門職を採用する予定はありません。	児童発達支援センターなどとも協力して、保護者のニーズに応えていく工夫が必要だと考えています。
2	安全計画、危機管理マニュアル、BCP、感染対策指針、送迎安全マニュアル、虐待防止マニュアル等法人内で整備しているものの周知が必要だと考えています。	マニュアル類が多すぎて、周知する方もされる方も大変だと思います。	全体への周知としてまずは一覧表を作成するなどの工夫が必要だと考えています。
3	保護者同士の交流、きょうだい支援について、ニーズの把握とそのニーズに合った支援が必要だと考えています。また、いつも同じ職員(管理者)が保護者会などの対応をしているので、工夫が必要だと考えています。	いつも同じ職員が対応していることについては、保護者会を活動中に開催していることもあり、職員体制的にも厳しい面があります。	きょうだい支援については、事業所で取り組むというよりは他機関につなげるなどで対応できればと思います。保護者同士の交流は参観の機会などを活用して工夫したいと考えています。